モンスター深谷 サムライ成田 V激戦

深谷知広 SS 愛知 96期

一億円が懸かる一発勝負の立川グランプリ、その大一番で赤板過ぎから先行できるのが**深谷知広**。結果は五着に沈んだが、最終バックストレートまで一本棒の展開に持ち込み、モンスターエンジンのポテンシャルを発揮して師匠金子貴志のグランプリ初制覇に大きく貢献。本記念では別線の包囲網が厳しくなりそうだが、力でハネ返してV争いの中心に。

S班の中で生粋の追込型は今や**成田和也**のみ。大ギヤ全盛の今、ヨコのさばきで好位を主張するマーク屋にとっては厳しい時代になった。そんな時代にあって、競走スタイルを変えない男を時代おくれと呼ぶだろうか。それどころか今や少なくなったマーク屋として、なお一層の輝きを放ち、機動型からの信頼とファンからの信用を勝ち取っている。目標にする機動型が不発でも、可能性がある限り狭い所でも突っ込むレースは、信じて車券を買うファンにとってはまさにサムライ。

成田和也 SS 福島 88期

後閑信一 SS 東京 65期

そして移る時代に対応するために、変わる事でS班の座についた選手が**後閑信一**。去年8月末の岐阜記念で「もう一度GIで戦うためには、自力を出せなかったら戦えない」と自力型に戻す意味を話してくれた。そして9月、京王閣オールスター競輪で有言実行。新田祐大（福島）のカマシ先行をまくりでゴール前捕えて7年振りのGI制覇。43歳という年齢で変える事を選択した決断にも頭が下がるが、まだまだ限界に挑戦し続ける限り進化は止まらない。今節は**武田豊樹**が参戦予定なだけに、追込型として番手の競走も考えられるが、目標不在なら自力勝負でV争いに加わる。

武田豊樹は去年高知記念での違反により、長期間あっせん停止処分を受け、今年1月の京王閣FIシリーズから復帰。結果はケタ違いのパワーを見せて三連勝でVと全くブランクを感じさせなかった。今節は**深谷**と先行で真っ向勝負ができる自力型として期待したい。

北日本の機動型では**佐藤友和**。スピードあるまくりで後方になっても届いて来る。今節の北日本には**早坂秀悟**をはじめ、積極的な機動型がそろうだけに、連係できれば番手から自力に転じるなど、展開有利に運ぶレースもありそうだ。

近畿からは**川村晃司**が参戦予定。昨年12月の広島記念で松岡健介（兵庫）の先行に乗って番手まくりで記念初Vを決めると、続く佐世保記念では、九州作戦で**井上昌己**の二段駆けの上を八番手から捲って記念連続制覇。元々力はあったが、グレードレースでなかなか勝てなかった男が、広島記念を勝った事で自信を付けたのは大きい。今後は更にビッグレースを狙って活躍するだろう。強豪がひしめく本記念でも全く見劣りはしない。

九州からも猛者がズラリ。自力勝負を基本に、展開に応じてなんでもできる**井上昌己**、ヨコのさばきで厳しく位置を主張する追込型の**大塚健一郎**、切れのあるカマシ・まくりが持ち味の**坂本亮馬**はレース展開によっては先行の番手に飛び付くなど、自在性も兼ね備える。勝負強い選手をそろえた九州勢も一発を狙って来るだけに怖い存在。

迎え撃つ地元勢は昨年の覇者**新田康仁**、昨年の決勝戦は**深谷知広**の番手に付ける事も出来たが、目標に指名したのは東日本連係で神山拓弥（栃木）。「同じ東日本地区という事もあるし、神山君の後手を踏まない前々に攻める競走が好きなんで」と迷わず番手を選択。結果は神山が先行勝負に出てくれて、番手から自らまくって地元Vを決めた。近況は先行・まくりを主体に、レースの状況に応じて何でもやるスタイル。好不調の波が少ないタイプだけに、地元記念に向けて調整ができれば二連覇も狙えるはず。その昨年の決勝戦で**新田**に迫って二着だったのが**林雄一**。道中は**新田**の後ろでしっかり援護。ゴール前は遠慮なく差し迫り僅かに届かず。続いた落車による怪我の影響が心配されたが、復帰後も俊敏なヨコのさばき、鋭い差し脚共に問題なし。今年こその気持ちで参戦して来るだけに、伏兵として狙いたい選手。地元記念Vの期待ができるもう一人が**渡邉晴智**。去年は高知記念での違反により、長期の戦線離脱を余儀なくされて、不本意な年を送っただけに今年にかける思いは強い。地元記念には万全の状態に仕上げて来るはずで、**新田**と共に地元の意地を見せる。

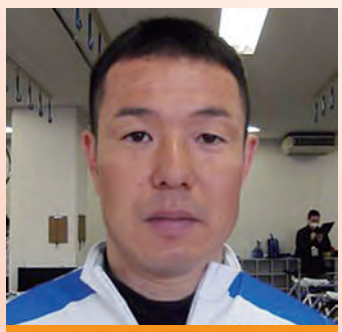
今回はその他にも実力あるベテラン選手や将来が期待される若手機動型も多数参戦予定。ベテランでは当記念を3度制している**山田裕仁**。当所との相性もいいだけに、**深谷知広**や年末のヤンググランプリで先行勝負に出た同県の若手**竹内雄作**ら、中部地区の機動型の層が厚いのも好材料。上越の**諸橋愛**やオールラウンダーの**小林大介**も一発があるだけに、穴党にはおすすめの選手。中四国からは鋭いまくりを持つ**友定祐己**、混戦ならコースを突いて抜け出して来る**香川雄介**も曲者。**竹内雄作**と同じくヤンググランプリに出場し、あと一歩の準優勝だった**和田真久留**は将来が楽しみな若手。今期は2班の**北津留翼**は、近況後方に置かれる組み立ての甘さが改善されつつあり、勝ち上がれば底力ある機動力は九州勢の起爆剤になるかもしれない。

渡邉晴智 S1 静岡 73期

新田康仁 S1 静岡 74期

佐藤友和 S1 岩手 88期

武田豊樹 S1 茨城 88期



川村晃司 S1 京都 85期

大塚健一郎 S1 大分 82期

井上昌己 S1 長崎 86期

電話投票でポイントを貯めてキャッシュバック！静岡競輪の電話投票するならギャンブーポイントがオトク！　入会無料!!　http://gamboo.jp/　詳しくはネットで検索！　ギャンブー　検索